

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

7月17日に祝津ホタテ養殖漁場の「かみ」、「なか」、「しも」、の3カ所で、表層から水深30mまで3層にわけて浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした（表1）。また、部会の桁に設置しているザラボヤ付着プレートにも付着が見られなかったことから、6月中旬から7月中旬のザラボヤ幼生の発生はほとんどなかったものと考えられる。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温	クロロフィル	ザラボヤ		ユウレイボヤ		その他のホヤ		ヒトデ		フジツボ	
				個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ	個	個/トッ
かみ	0~10m	18.7~20.4	0.1										
	10~20m	18.0~18.7	0.1~0.2										
	20~30m	17.4~17.9	0.1~0.3										
なか	0~10m	18.5~20.1	0.1										
	10~20m	17.9~18.4	0.1~0.2										
	20~30m	17.4~17.9	0.1~0.2										
しも	0~10m	18.7~19.9	0.1										
	10~20m	17.4~18.7	0.1~0.2										
	20~30m	16.8~17.4	0.1~1.2										

【参考資料】

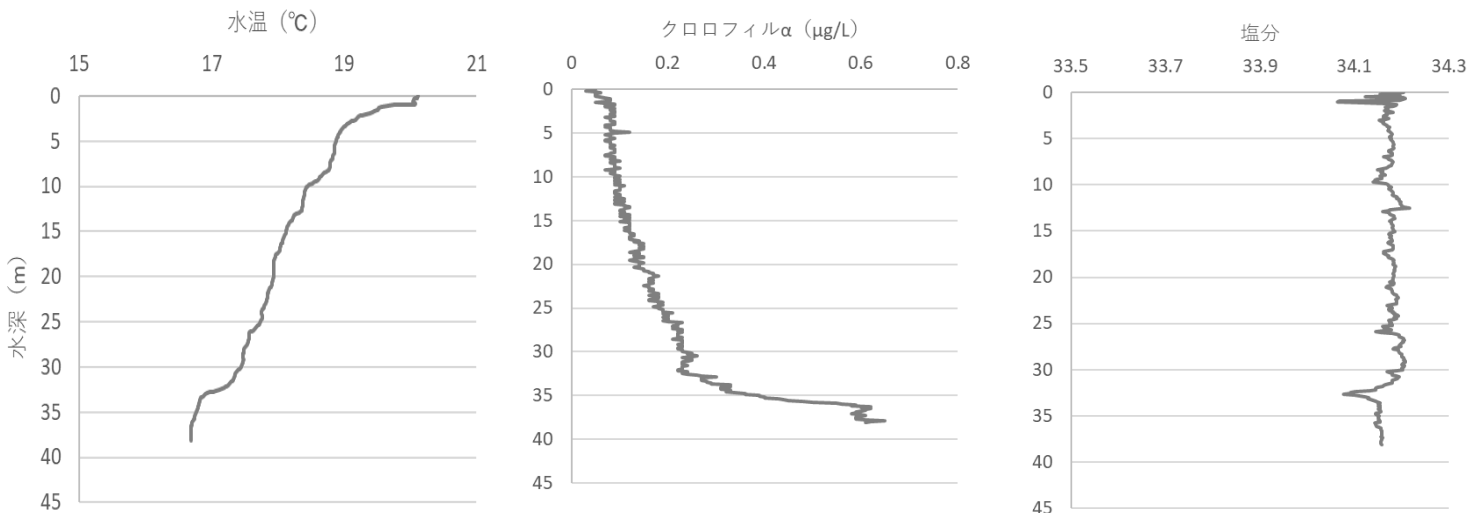


図1：「なか」の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します。

※この調査は北海道ほたて漁業振興協会からの委託研究により実施しています。

※調査結果は中央水産試験場 HP から確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd0000002m9a.html>